



韋の^イ𠂔は、^イ止で、止の反対の形です。(第二部足参照) 止は、^イ止 ^イ𠂔で、足の裏の象形です。^イ𠂔を下向にしたのが^イ𠂔です。つまり、^イ𠂔と^イ𠂔とは足の向きが反対

で、韋は、“すれちがう”のが本義の字で違の本字です。部首としては“ちがう”“反対”という意味に使われます。音はイです。

違は、“道を行く”という意味の^イ辵と韋との会意形声字で、“行きちがう”“すれちがう”が本義の字です。今では、単に“ちがう”という意味に使われています。違反。違約。違算。違例。音は^イ韋です。

偉は、“ちがう”という意味の^イ韋と人^イとで、普通の人とはちがった人、つまり、“えらい”人という意味を表わした会意形声字です。偉人。偉大。偉業。音は^イ韋。

緯は、“行ったり来たりする”意味の^イ韋と糸との会意形声字で、はた(織機)を織る時“行ったり来たりする糸”つまり“横糸”のことです。たてに張られた「経」に対して「緯」が行ったり来たりして織られ、布になります。地球上の位置を示すのに、南北に両極を貫く線を引き、イギリスのグリニッチ天文台を通過する線を0度とし、360度に分かって、これを経度と呼びます。この経度を示す線が「経

線」です。この経線に直交する線が「緯線」で、赤道を0度とし、両極まで90度に分かって、これを緯度と呼びます。地球上の位置は、この「経緯度」によってはっきりと示されるわけです。

「経緯」は、“縦糸と横糸”という意味ですが、“事の次第”“いきさつ”という意味に使われます。

衛は、行と韋との会意形声字です。行の古い形は^イ𠂔で、道の象形です。道の象形により、“歩行”の意味を表わした指事字です。従って、衛は、“道を行ったり来たりする”のが本義の字で、つまり、英語のパトロールに当たります。これは、「警戒」することを意味していますので、“まもる”の訓があるのです。「警衛」は行ったり来たりして警戒することです。その任に当たる兵隊が「衛兵」です。音は、^イ韋が強く発音されてエイとなりました。

葦は、“^イ韋”と呼ばれる草で、^イ韋と^イ艹との単なる形声字です。和名は“あし”ですが、これは“^あ悪し”に通ずるので“よし(善し)”とも呼ばれます。「葦のずいから天井のぞく」(いろはガルタ)。